

スカパーJSATグループ 2013年度 1Q決算説明会

2013年8月1日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第1四半期連結決算概要

損益概要

■ 前年同四半期比、増収増益。

(単位: 百万円)

	FY2012 1Q	FY2013 1Q	増減率	通期予想 進捗率
営業収益	39,086	41,044	+5.0%	25.0%
営業利益	5,043	5,210	+3.3%	30.6%
経常利益	4,922	5,246	+6.6%	31.7%
四半期純利益	3,228	3,140	△2.7%	31.4%
EBITDA ^(*1)	11,127	11,835	+6.3%	—
EBITDA Margin	28.47%	28.84%	—	—

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

有料多チャンネル事業の主要指標

■ 加入は3.2万件純減

※本年6月末「プレミアムサービス光」の標準画質サービス終了による一時的解約増も影響

■ 「プレミアムサービス」のハイビジョン移行は計画通り進捗

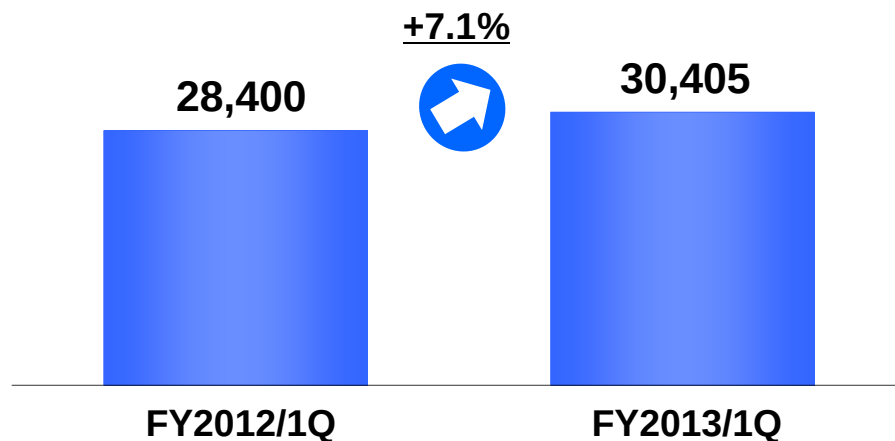
	FY2012/1Q	FY2013/1Q	FY2013通期目標
新規加入件数	16.5 万件	13.2 万件	64.0 万件
純増数	1.7 万件	△3.2 万件	3.6 万件
累計加入件数	383.1 万件	380.0 万件	386.5 万件
加入者月額支払単価	3,223 円	3,190 円	—
ARPU(*1)	1,738 円	1,938 円	—
SAC (単価)	26,117 円	29,219 円	—

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する額。

営業収益： セグメント別の前年度増減要因

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +20億円(+7.1%)*

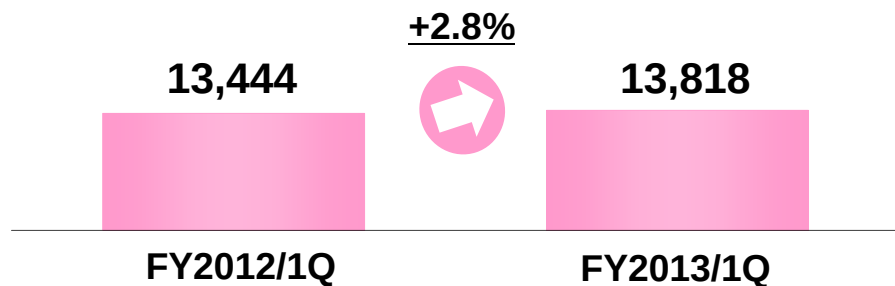
＜主な増減要因＞

- 視聴料収入等の増加: +33億円
- 業務手数料収入等の減少: ▲11億円
 - ・スカパー！(旧e2サービス)手数料収入等: 3億円
 - ・標準画質サービスに係わる手数料収入等: ▲14億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +4億円(+2.8%)*

＜主な増減要因＞

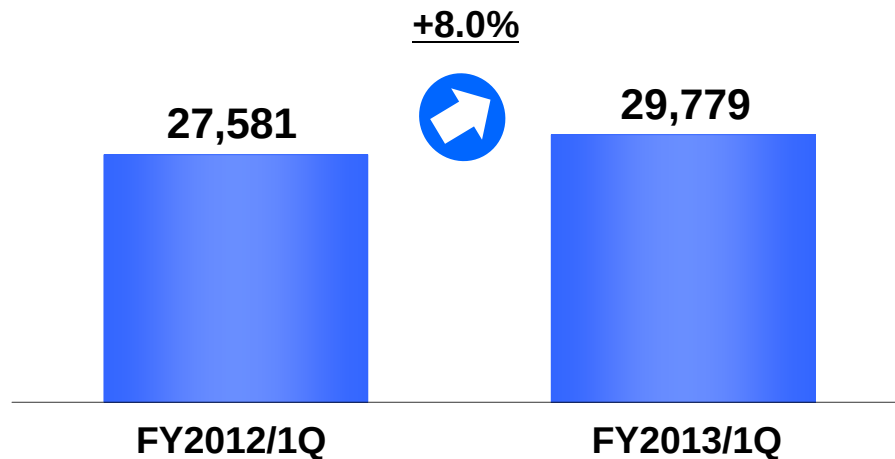
- 国際サービス収入等衛星事業収入の増加他: +6億円
- 放送トラポン収入に係る減少: ▲2億円

* セグメント間内部取引を含む。

営業費用： セグメント別の前年度増減要因

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +22億円(+8.0%)*

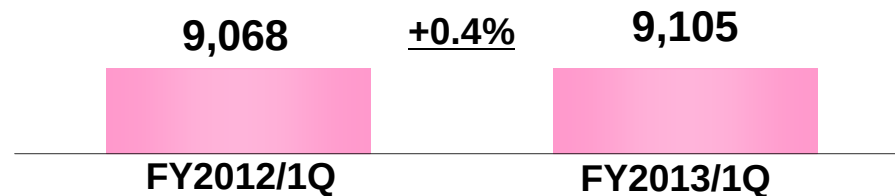
＜主な増減要因＞

- 番組供給料の増加: +16億円
- ハイビジョンサービスへの加入者移行費用増加: +3億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +0.4億円(+0.4%)*

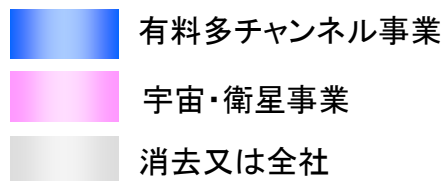
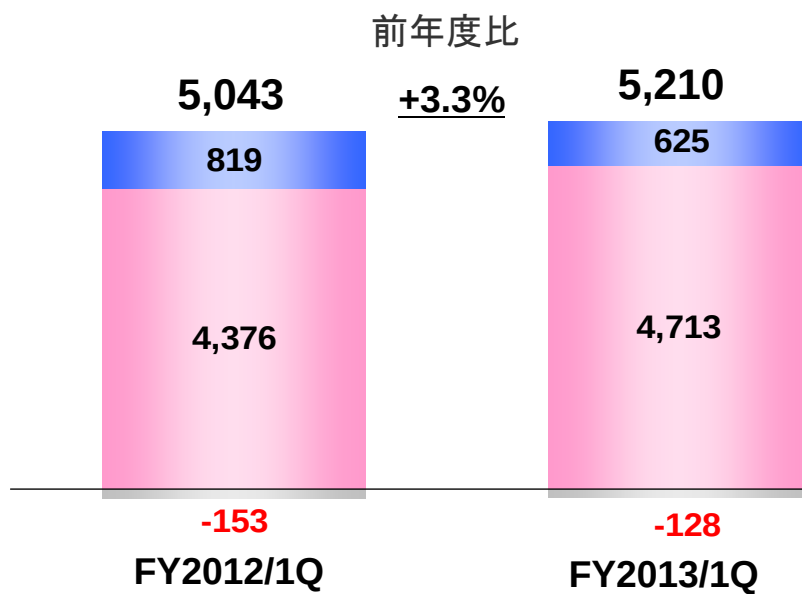
- 減価償却費: +0.8億円
- 衛星寿命保険料: ▲0.3億円

* セグメント間内部取引を含む。

利益指標： 前年度対比

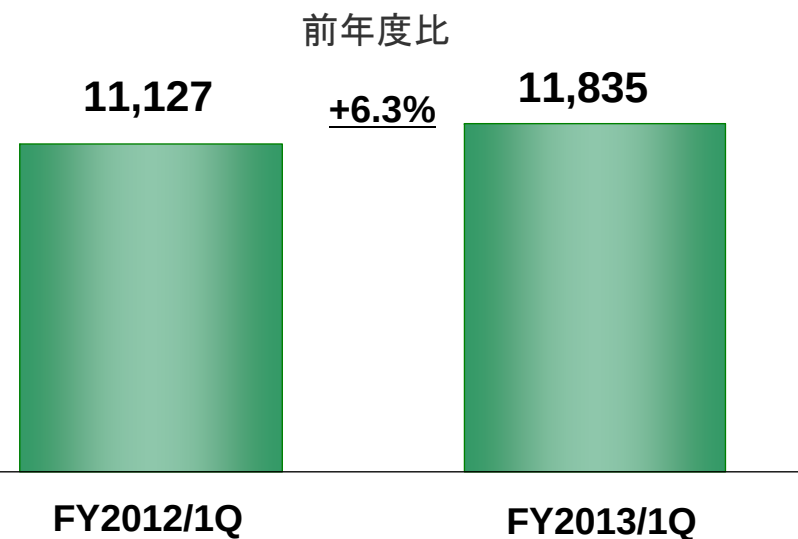
営業利益

(単位: 百万円)



EBITDA (*)

(単位: 百万円)



* EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

今後の取り組み ～有料多チャンネル事業～

コンテンツの更なる強化

8月以降、音楽ライブ・スポーツを中心に強力コンテンツを編成！

AKB48



- 8月9日『AKB48時間一挙放送』
48時間ぶっとおしでAKB関連番組を放送
- 8月～12月まで(週1回)
『思い出せる君たちへ』全32公演独占放送
パッケージ化を予定していない超貴重ライブ
- 8月17日『AKB観光大使』
「会いに行けるアイドル」があなたの街に会いに行く！

©AKS

東方神起



- 8月31日
『LIVE TOUR 2013 ～TIME～』
今年6月に東京ドームで行われた
ツアー最終日を独占放送！！

その他にも、東方神起ユンホ
出演ドラマ『野王』(8月18日スタート)他
関連コンテンツも盛りだくさん！

時代劇



©2013 日本映画衛星放送株式会社／松竹株式会社

- 9月7日
「時代劇無料の日」
時代劇関連コンテンツを
ノースク放送！
- 9月8日
「鬼平外伝 老盗流転」
(BSスカパー！)
オリジナル時代劇
シリーズ4作目

プレミアムサービス H.264への移行

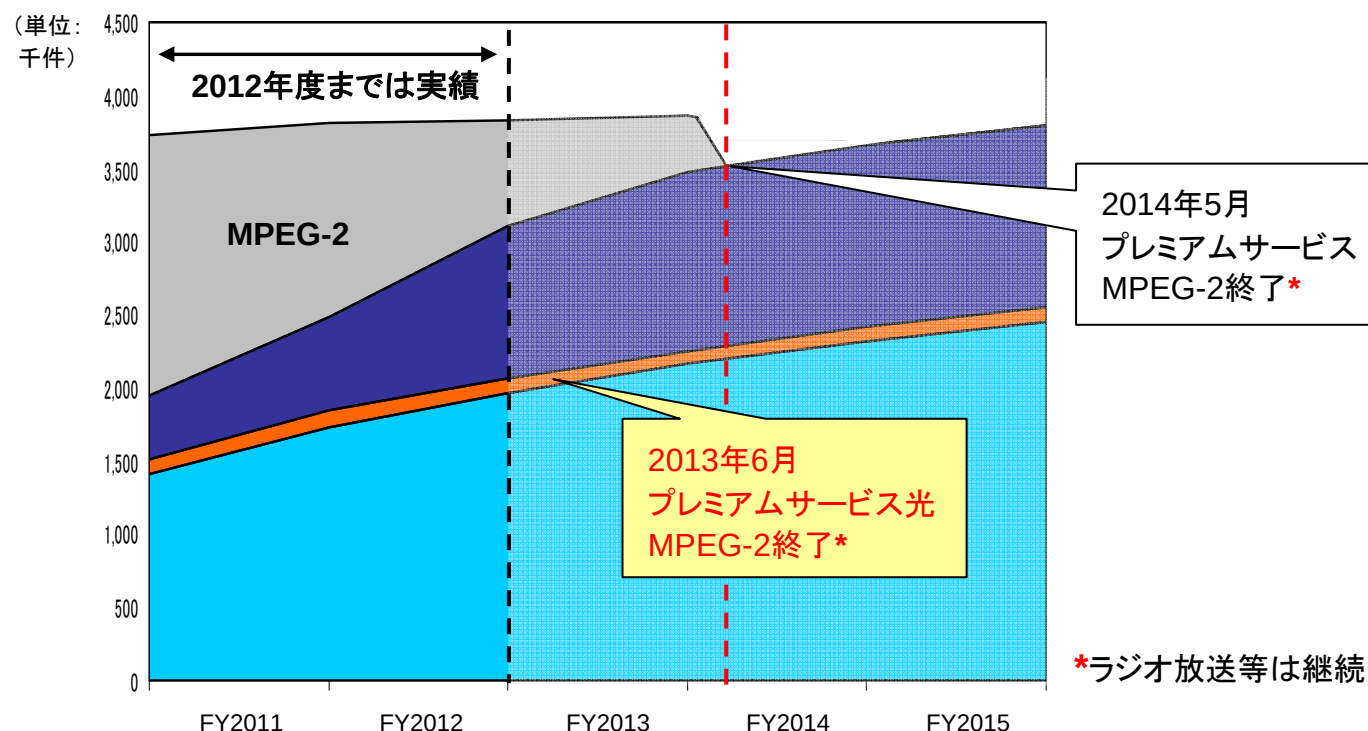
■移行は順調に推移、2014年5月末のMPEG-2終了に向けて早期完了を目指す

■プレミアムサービス光は2013年6月末にMPEG-2を終了し、H.264移行が完了

【2013年6月末加入件数】

	プレミアムサービス	プレミアムサービス光
MPEG-2累計	58万件	0件
H.264累計	113万件	9万件

【中期経営計画の見通し】



FY2013 HD移行件数

【目標／実績】

年間移行目標件数	246,000
----------	---------

	実績件数
4月	39,220
5月	36,083
6月	33,775
1Q計	109,078

スカパー！オンデマンド(VOD)サービスの展開拡大

スカパー！オンデマンド



LIVEを中心としたオリジナルコンテンツの更なる拡充



**J SPORTS
LIVE+**

第100回ツール・ド・フランス
6/29(土)～7/21(日)
全ステージLIVE配信



海外サッカーLIVE
新シーズン開幕
(8/1～)



**時代劇専門
チャンネルセレクト**

鬼平外伝 老盗流転
(9月配信予定)

©2013 日本映画衛星放送株式会社／松竹株式会社

海外に向けたコンテンツ事業展開～プラットフォーム事業の拡大

- クールジャパン施策を民の立場から推進 / 日本文化の浸透に寄与
- 海外、特にアジア諸国に向けた“日本チャンネル”の早期立ち上げを目指す
- 放送を中心とした多角的プラットフォーム事業の構築

Business

放送/イベント/商品販売/観光/広告 etc...

ALL ジャパン コンテンツ

インドネシア

ミャンマー

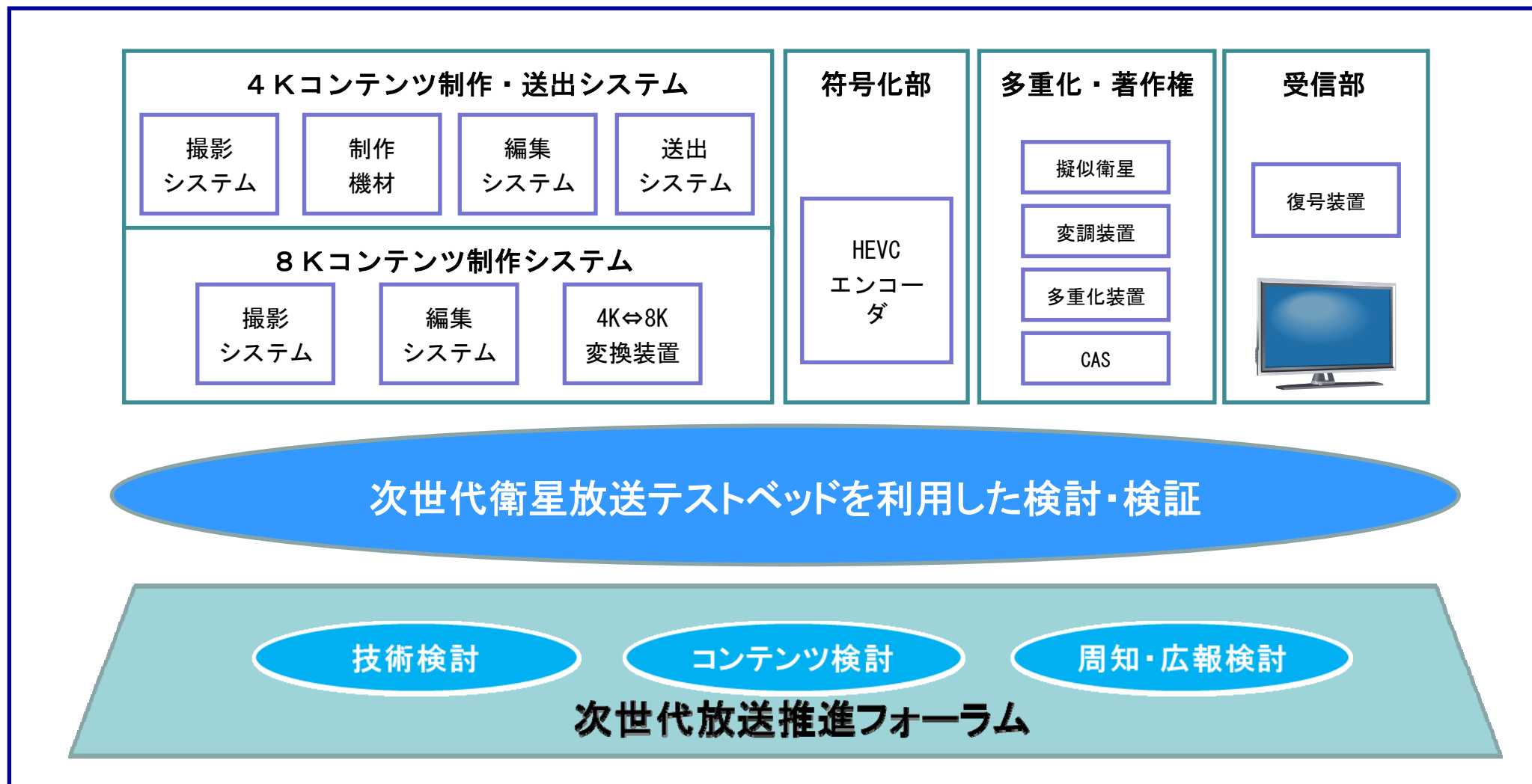
ベトナム

マレーシア

インド

Area

4K放送の実現と次世代放送推進フォーラムによるテストベッド事業の概要



参照：2013.6.17次世代放送推進フォーラム設立の際の記者会見資料

不正視聴問題の状況

- B-CASカードの不正改造や改ざん事案の摘発状況
- B-CASカード不正視聴における民事訴訟の状況について
- プレミアムサービスにおける不正視聴について

今後の取り組み ～宇宙・衛星事業～

国内市場への取り組み(1)

■ 防衛事業の基盤強化

- 出資先企業である(株)エム・シー・シーの株式を追加取得(6月20日)
- 同社の筆頭株主となり、代表取締役等を派遣

〔株主構成〕

スカパーJSAT(株)、三菱電機(株)
日本電気(株)、(株)東芝
NTTコミュニケーションズ(株)
三菱商事(株)



防衛省向けPFI事業である「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」について、同社と連携して事業を推進

■ 「きずな」の社会化実験の推進

- JAXA保有の超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)の利用促進業務と運用業務を継続して受託
- 社会化実験として、技術専門商社の(株)理経による“衛星を介した大容量ファイル転送”検証実験をサポート(4月22日)



宇宙利用の拡大、宇宙産業の発展に貢献



「きずな」軌道上概観図

国内市場への取り組み(2)

■ 大規模災害対策・BCP向けの取り組み

■ ライフライン関連での利用



- ➡ 大手ガス会社が、ガスパイプライン監視用として、ExBirdサービスを大規模に導入。今秋、本格的利用を開始。

■ BCP向けの新たな取り組み



- ➡ 7月1日より、『ExBird BCPプラン』の提供を開始。

震災時に必要なアプリケーションとして、
内線電話、緊急地震速報、掲示板なども
含めパッケージ化

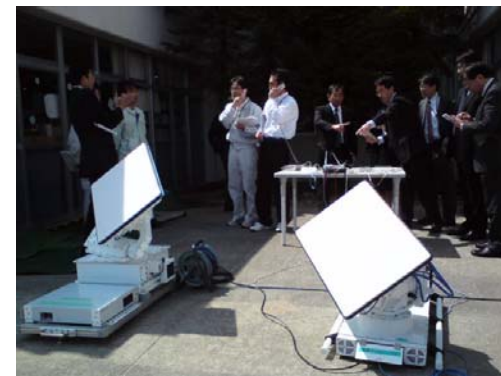


新たな利用顧客の開拓

■ 災害対策用の衛星設備の開発

➡ 新型の小型地球局(VSAT)を開発

- ①簡単な操作で、設置・調整が可能
- ②自動捕捉機能の改善等により操作性が大幅に向上
- ③大規模災害発生時の利用を想定
- ④総務省からの委託により開発(注)



宮城県山元町でのデモンストレーション(4月25日)

(注) 総務省『平成23年度補正予算』に基づく委託

グローバル市場への取り組み

■ JCSAT-14の調達契約を締結〔JCSAT-2A(154E)後継機〕

- Space Systems/Loral社と衛星調達契約を締結(6月12日)
- 国内向け衛星通信サービスの提供に加え、グローバルビジネスの更なる展開を強化

- ➡ インドネシアなどのアジア市場及びロシア市場(極東)での需要が堅調
- ➡ 海洋向けブロードバンドサービスOceanBBが順調に拡大

(Kuバンド)

日本ビームに加え、新たにアジア、太平洋地域をカバーするグローバルビームを搭載

(Cバンド)

提供能力を約3倍増とし、アジア、オーストラリア、ニュージーランドに加え、ロシア、太平洋地域にも拡大

- 2015年下期打ち上げ予定



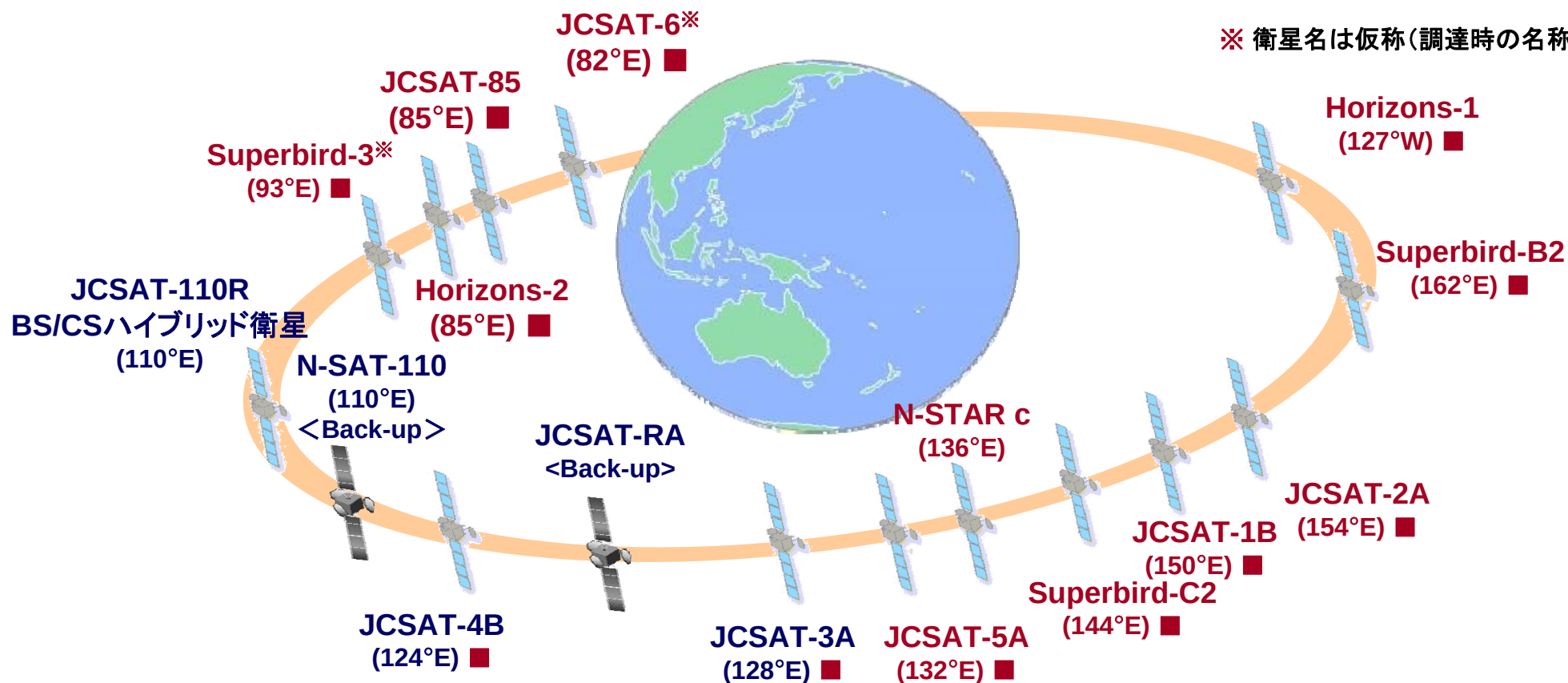
Space Systems/Loral社との調印式

衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

■ グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

※ 衛星名は仮称(調達時の名称)



主に放送サービスに利用

主に通信サービスに利用

(参考資料)

連結貸借対照表

資産

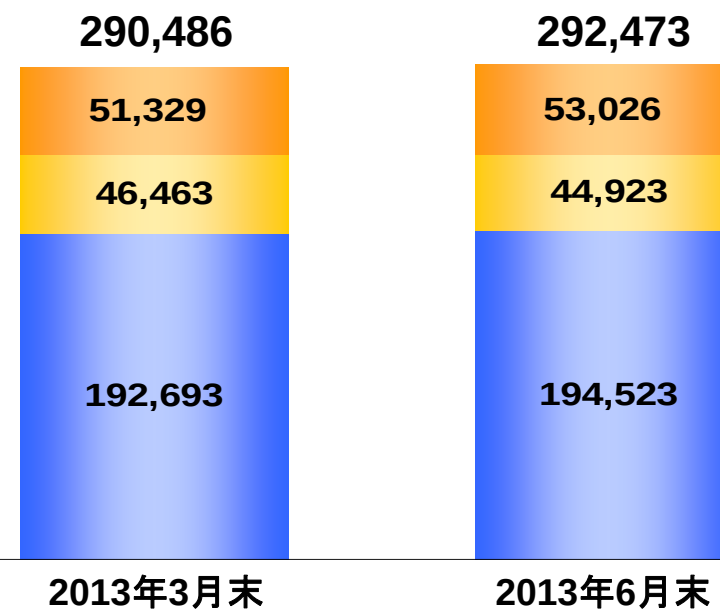
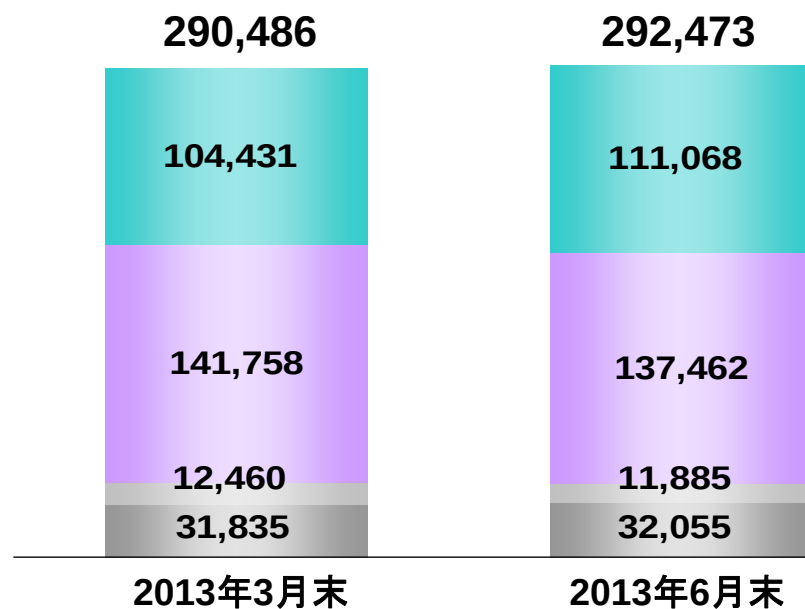
負債・純資産

自己資本比率: 66.2%

自己資本比率: 66.4%

(単位: 百万円)

(単位: 百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

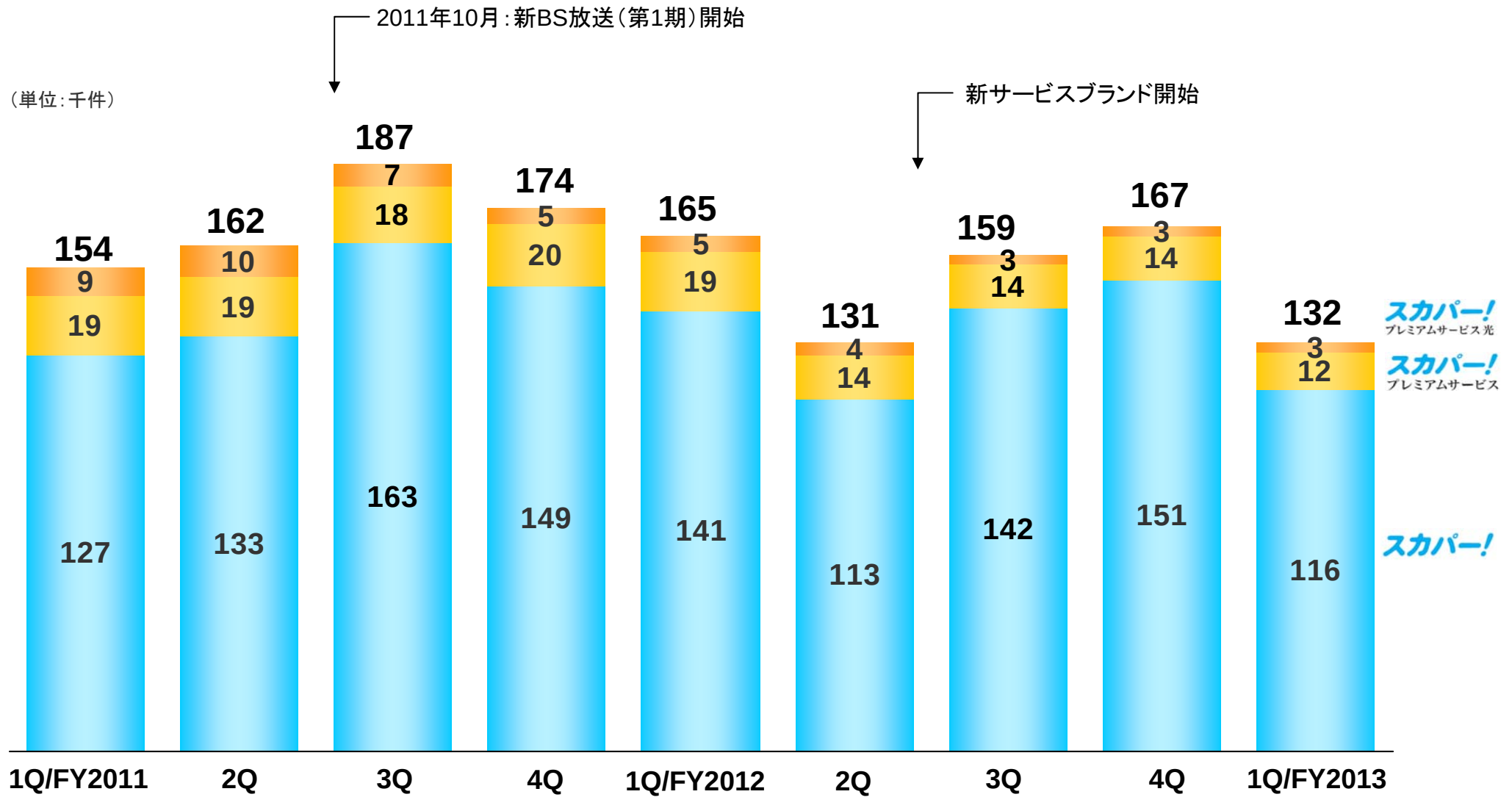
(単位:百万円)

	FY2012 1Q	FY2013 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,987	15,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,098	△2,456
フリー・キャッシュフロー (*1)	9,888	13,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,482	△4,899
現金及び現金同等物の期末残高(a)	72,924	83,208
有利子負債期末残高 (*2) (b)	61,826	47,801
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△11,098	△35,407

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー。

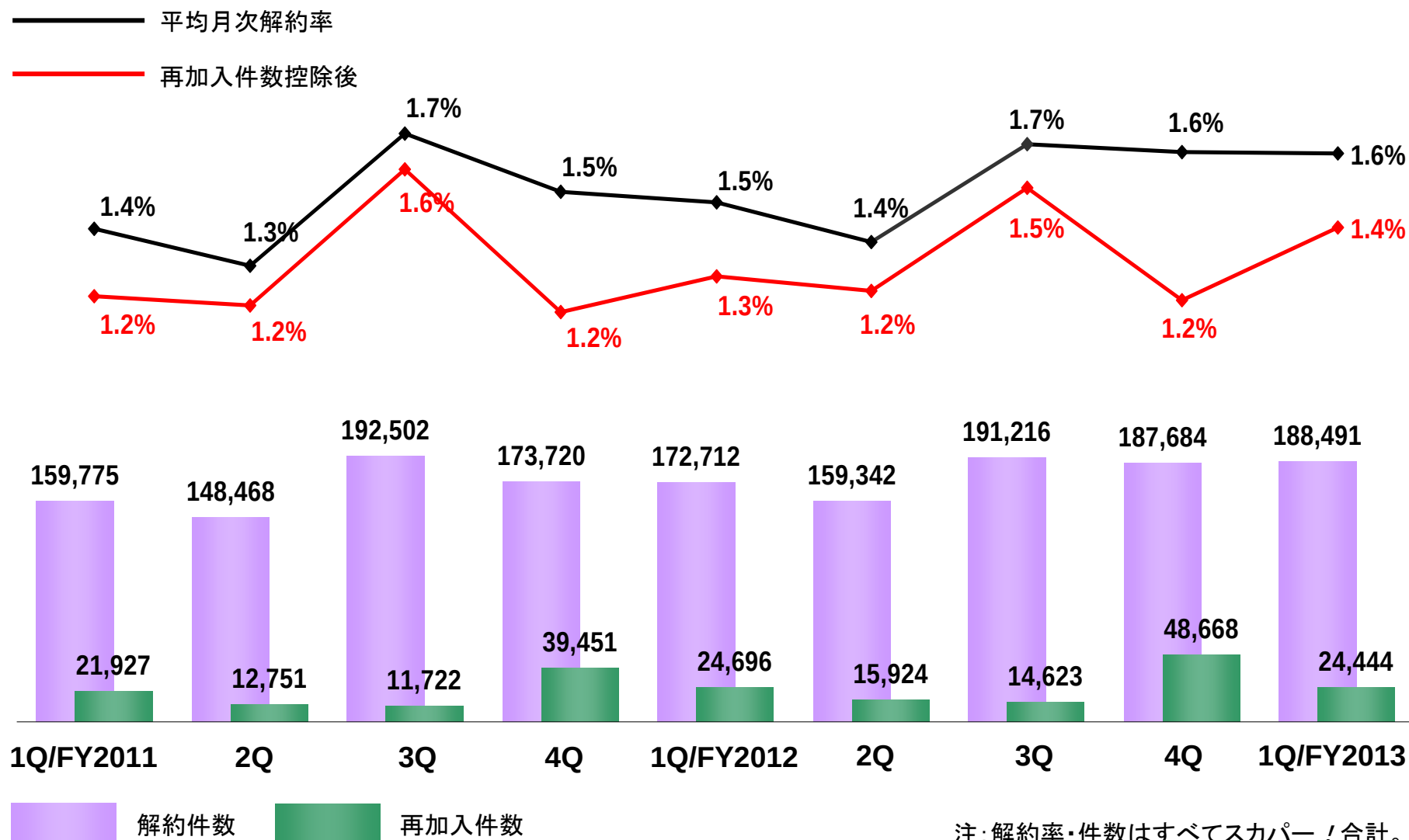
*2. 借入金＋無担保社債。

新規加入件数



* プレミアムサービスには、標準画質専用チューナーの加入者も含まれる。

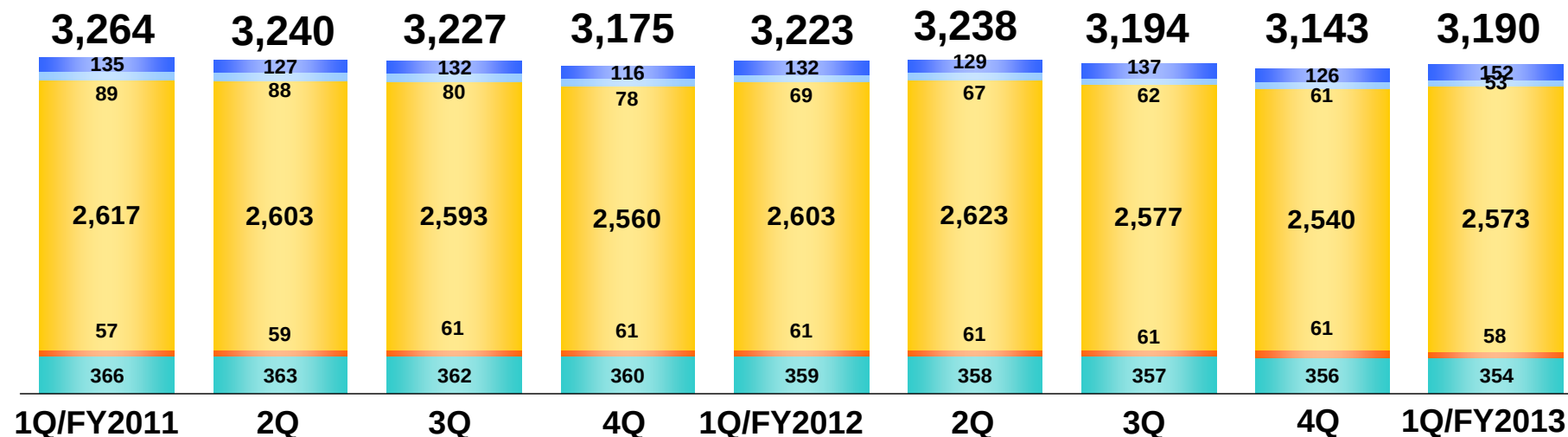
解約率(四半期別月次平均)



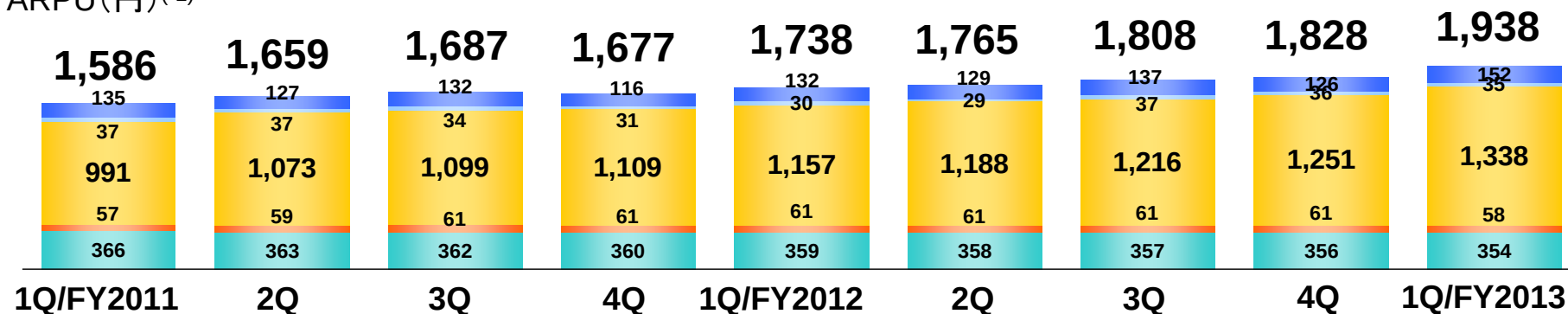
注:解約率・件数はすべてスカパー！合計。

ARPU

■ 加入者支払単価(円)(*1)



■ ARPU(円)(*2)



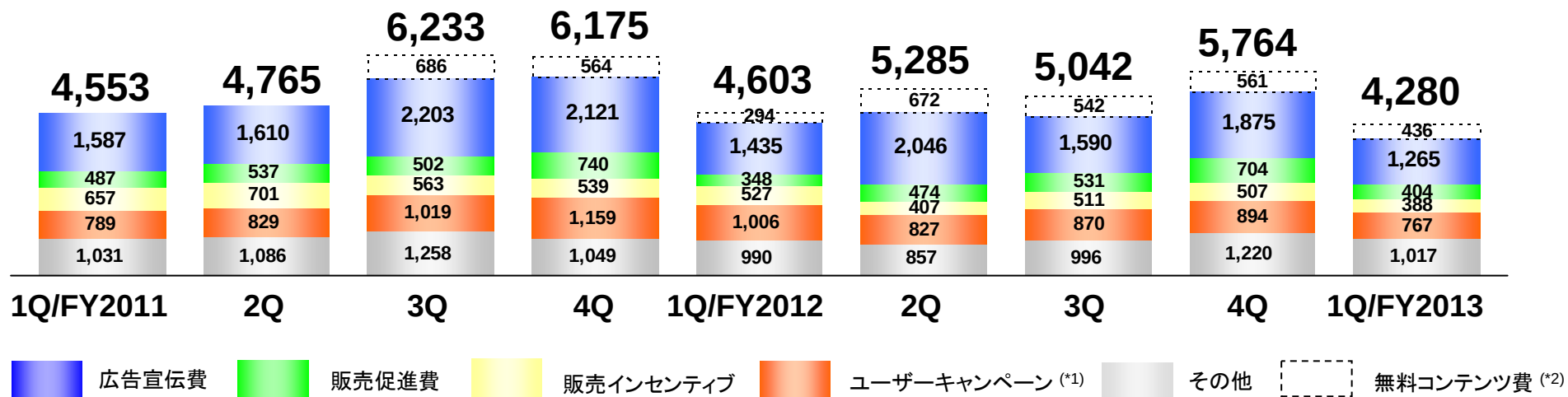
基本料／件 レンタル会費／件 フラット視聴料／件 PPV視聴料／件 自主コンテンツ収入／件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価。

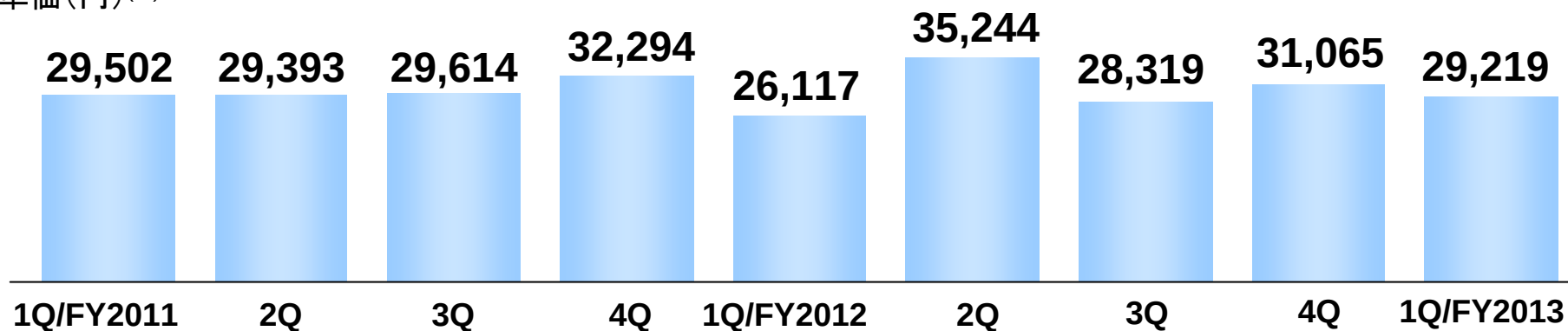
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額。

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(円)(*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用。

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部